

〔感染症発生動向調査企画委員会情報〕

4月報

インフルエンザ定点（小児科定点を含む）

インフルエンザ 報告数は482件（前月比0.2、前年同月比482.0）でした。前月と比較して約80%減少しました。流行のピークは過ぎたものと思われませんが、4月も学校における学級閉鎖などの報告がありましたので、もうしばらく流行監視が必要です。

小児科定点

（全体傾向）

報告数は2,253件（前月比0.48、前年同月比1.52）でした。インフルエンザの減少によって前月より半減しましたが、インフルエンザの報告数はまだ三桁であり、さらにヘルパンギーナ・咽頭結膜熱・A群溶連菌咽頭炎の増加により前年同月比は高くなっています。

（疾患別傾向）

1. RSウイルス感染症 : 報告数は84件（前月比0.4、前年同月比10.5）でした。昨年9月以降、三桁の報告が続いていましたが、やっと減少に転じました。人吉（5.00）、宇城（3.50）、菊池（2.80）からの報告が多いようです。
2. 咽頭結膜熱 : 報告数は41件（前月比0.6、前年同月比2.4）でした。1月から増加傾向でしたが、減少に転じました。有明（2.60）からの報告が多いようです。
3. A群溶連菌咽頭炎 : 報告数は74件（前月比1.2、前年同月比3.4）でした。1月から連続して増加しており、今後の発生動向に注意が必要です。宇城（7.50）からの報告が多いようです。
4. 感染性胃腸炎 : 報告数は832件（前月比0.7、前年同月比0.7）でした。昨年12月から四桁の報告が続いていましたが、減少に転じました。菊池（41.80）、有明（30.40）からの報告が多いようです。1～4歳を中心に全年齢層から報告されています。
5. 水痘 : 報告数は12件（前月比0.8、前年同月比0.9）でした。今年は例年よりも低い水準で推移しています。
6. 手足口病 : 報告数は26件（前月比3.3、前年同月比2.0）でした。今年1月から低い水準のままではありますが、前月よりも増加しました。御船（4.33）からの報告が多いようです。
7. 伝染性紅斑 : 報告数は0件（前月比-、前年同月比-）でした。今年の1月から報告はありません。
8. 突発性発疹 : 報告数は96件（前月比1.0、前年同月比0.9）でした。大きな変化は無く、2歳以下の報告のみでした。
9. ヘルパンギーナ : 報告数は442件（前月比2.0、前年同月比221.0）でした。3月からの急激な増加は4月も続き、3年ぶりの高い水準になっています。昨春の報告数は一桁だったため、前年同月比は非常に高い値になりました。コロナ禍前は夏季に流行のピークを迎えていましたので、今後の推移に注意が必要です。菊池（39.00）からの報告が多いようです。
10. 流行性耳下腺炎 : 報告数は15件（前月比2.1、前年同月比3.8）でした。前月比、前年同月比共に増加してはいますが、ここ数年は10件前後の低水準で推移しています。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎： 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎： 発生件数 19 件（前月比 2.4、前年同月比 1.7）といずれも増加しています。熊本 17 件、有明、天草各 1 件の報告です。30～49 歳にピークがありますが 50 歳以降にも散発しています。乳幼児層では 5 歳に 1 件の報告があるのみです。

STD 定点

※平成 25 年 1 月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が 13 医療機関から 16 医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症：
報告数 66 件（前月比 0.8、前年同月比 1.1）でした。男女別は、男性 42 件、女性 24 件でした。年齢別では、男女とも 20 代をピークに男性は 10 代後半から 60 代まで、女性は 10 代後半から 40 代に認めました。地区別は、熊本市 57 件、次いで御船、有明で共に 3 件、宇城で男性のみ 2 件、菊池が 1 件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症：
報告数 23 件（前月比 0.8、前年同月比 1.5）でした。男女別は、男性 12 件、女性 11 件でした。年齢別では、男性は 20 代から 70 代、女性は 20 代から 60 代まで認めました。地区別は、熊本で 12 件、八代で女性のみ 7 件、宇城で男性のみ 4 件でした。
3. 尖圭コンジローマ：
報告数は 10 件（前月比 1.3、前年同月比 1.3）でした。男性 8 例、女性 2 件でした。年齢別では 20 代に 6 件、30 代 2 件、男性 70 代に 1 件、女性 50 代に各 1 件、認めました。地区別は、熊本で 8 件、有明で女性のみ、宇城で男性のみ 1 件でした。
4. 淋菌感染症：
報告数は 14 件（前月比 0.6、前年同月比 0.5）でした。男女別は、男性 12 件、女性 2 件でした。年齢別では男性では 10 代から 30 代、50 代から 70 代まで 1 件ずつ認めました。女性はすべて 10 代後半に認めました。地区別は、熊本 12 件、有明で男女各 1 件でした。

基幹定点

（月報分）

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：
報告数 15 件（前月比 0.6、前年同月比 0.6）でした。乳幼児の発生はありません。熊本（定点当たり 2.2）、人吉（定点当たり 2.0）が多く見られます。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：
報告数 0 件（前月比-、前年同月比-）でした。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：
報告数 0 件（前月比-、前年同月比-）でした。4ヶ月 0 報告が続いています。

（週報分）

1. 細菌性髄膜炎： 報告数 0 件（前月比-、前年同月比-）でした。
2. 無菌性髄膜炎： 報告数 2 件（前月比 0.7、前年同月比 0.7）でした。乳幼児例はありません。
3. マイコプラズマ肺炎： 報告数 0 件（前月比-、前年同月比-）でした。過去 1 年で 3 件の報告です。
4. クラミジア肺炎： 報告数 0 件（前月比-、前年同月比-）でした。過去 1 年で 0 報告です。
5. 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）：
報告数 0 件（前月比-、前年同月比-）でした。

届け出対象感染症

1類感染症	： 報告はありませんでした。	
2類感染症	： 結核	7件
3類感染症	： 報告はありませんでした。	
4類感染症	： レジオネラ症	1件
	日本紅斑熱	4件
5類感染症	： ウイルス性肝炎	1件
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1件
	侵襲性肺炎球菌感染症	1件
	播種性クリプトコックス症	1件
	梅毒	17件
新型インフルエンザ等感染症	：	
	新型コロナウイルス感染症	2,149件